

2023年度

数 学

◆ 注意

- 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 指示がある場合は途中の考え方や式も記入しなさい。
- 円周率は  $\pi$  を用いなさい。
- 問題の図は正確とは限りません。

1 次の問いに答えよ。

(1)  $(x^3y)^2 \div \left( -\frac{1}{2}x^4y^3 \right)$  を計算せよ。

(2)  $(\sqrt{6} - 3\sqrt{2})^2 - \left( \frac{\sqrt{42}}{\sqrt{7}} \right)^2$  を計算せよ。

(3) 方程式  $1.44 - 0.63x = -0.6(x + 0.5)$  を解け。

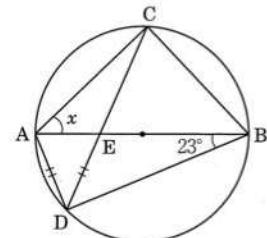
(4)  $(a^2 - b^2)x^2 + b^2 - a^2$  を因数分解せよ。

(5)  $\sqrt{\frac{540}{n}}$  が自然数となるような自然数  $n$  のうち、2番目に小さいものを求めよ。

(6) 2次方程式  $x^2 - 2x - 2 = 0$  の2つの解を  $a, b$  とするとき、 $(a^2 - 2a)(b^2 - 2b + 3)$  の値を求めよ。

(7) 箱Aには2枚のカード [1], [2] が、箱Bには2枚のカード [+]、[×] が、箱Cには3枚のカード [1], [2], [3] が入っている。箱A, B, Cから順にカードを1枚ずつ取り出し、取り出した3枚のカードを使って計算する。たとえば、[1], [+]、[1] の3枚を取り出したときは、 $1 + 1 = 2$  と計算し、[2], [×], [3] の3枚を取り出したときは、 $2 \times 3 = 6$  と計算する。このとき、計算結果が奇数となる確率を求めよ。

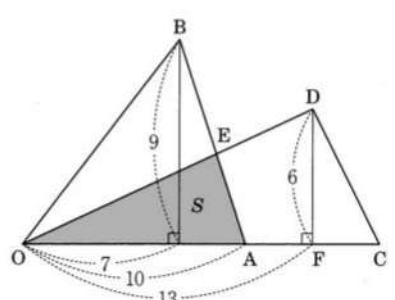
(8) 右の図のように、線分ABを直径とする円周上に2点C, Dがあり、線分AB, CDの交点をEとする。  
 $\angle ABD = 23^\circ$ ,  $DA = DE$  であるとき、 $\angle x$  の大きさを求めよ。



- 〔2〕 太郎さんと花子さんが、次の問題について会話をしている。□に当てはまる式や値を答えよ。

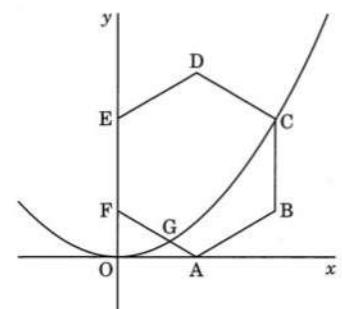
問題

右の図のように、 $\triangle OAB$  と  $\triangle OCD$  が重なっている。2つの三角形が重なった部分の面積  $S$  を求めよ。



- 〔3〕 右の図のように、正六角形 ABCDEF と点 C を通る放物線  $y = ax^2$  がある。点 A は  $x$  軸上の正の部分。

2点 E, F は  $y$  軸上にあって、F の  $y$  座標は 1 である。また、放物線と辺 FA の交点を G とする。次の問いに答えよ。



(1) 点 A の  $x$  座標を求めよ。

(2)  $a$  の値を求めよ。

(3) 四角形 ABCG の面積を求めよ。ただし、途中の考え方や式も記入すること。

太郎：この問題が解けないんだ。どうやって考えるといいかな。

花子： $\triangle OAE$  の底辺の長さは分かっているから、高さを求めればいいんだね。

太郎：そうなんだ。高さを文字を使って表してみただけど、うまくいかなかつたんだよ。

花子：うーん。じゃあ三角形の各頂点を、点の座標に見立ててみようか。

太郎：どういうこと？

花子： $O$  を原点として、たとえば、点 A の座標は  $(10, 0)$ 、点 B の座標は  $(7, 9)$  って考え るんだよ。

太郎：なるほど！それで点 E の座標を求めればいいってことか。

花子：うん。すると辺 OD は、直線  $y = (1)$  の  $x$  の変域が  $(2) \leq x \leq (3)$  の部分と 考えられるね。

太郎：じゃあ、辺 AB は、直線  $y = (4)$  の  $x$  の変域が  $(5) \leq x \leq (6)$  の部分と考え ることができるから、点 E の座標は  $(7)$  だ。

花子：そうだね。だから、 $S = (8)$  だね。

太郎：この方法なら簡単だ。図の中の 7, 10, 13, 9, 6 の 5 か所の長さのうち 1 か所だけを変え て、いろいろな問題を作ってみようよ。

花子：たとえば、線分 OF の長さを 18 に変えると、 $S = (9)$  となるね。

太郎： $\triangle OCD$  の高さ、つまり線分 DF の長さを 26 に変えると、 $S = 60$  となるね。

花子：ん？それはおかしいよ。 $\triangle OAB$  の面積は 45 だから、 $S = 60$  となることはないよ。

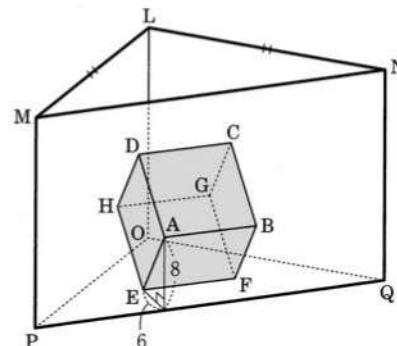
太郎：そうか。直線の式ばかりを見ていて、図形のことを忘れていたよ。線分 DF の長さが  $(10)$  以上のときは、常に  $S = 45$  となるんだね。

- 4] 2700 m 離れた P 地点と Q 地点がある。初め、太郎さんは P 地点に、花子さんは Q 地点にいて、2人は各地点を同時に出発し、それぞれ PQ 間を 1 往復した。太郎さんは行きは分速  $x$  m で、帰りは行きの 2.5 倍の速さで進んだ。花子さんは往復ともに分速  $y$  m で進んだ。2人は出発から 20 分後に初めてすれ違い、それから 34 分後に再びすれ違った。次の問い合わせに答えよ。

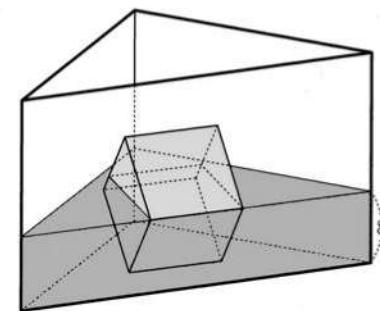
- (1) 下線部の条件から、 $x$ ,  $y$  についての方程式を作れ。
- (2) 2人が2度目にすれ違った地点を R とする。太郎さんが Q 地点から R 地点まで進むのにかかった時間を  $x$ ,  $y$  を用いて表せ。
- (3)  $x$ ,  $y$  の値を求めよ。

- 5] (図 1) のように、底面が直角二等辺三角形である三角柱の容器 LMN-OPQ の中に、立方体のつもり ABCD-EFGH が入っている。立方体は、三角柱の側面 MPQN と辺 AB で接し、底面 OPQ と辺 EF で接している。また、側面 NQOL と頂点 G で接し、側面 LOPM と頂点 H で接している。頂点 A と辺 PQ の距離が 8, 頂点 E と辺 PQ の距離が 6 であるとき、次の問い合わせに答えよ。

- (1) 立方体の 1 辺の長さを求めよ。
- (2) 頂点 H と辺 OP の距離を求めよ。
- (3) 辺 LM の長さを求めよ。
- (4) (図 2) のように、水の深さが 8 になるまで容器に水を注いだ。このとき、注いだ水の体積を求めよ。



(図 1)



(図 2)

(1)	(2)	(3) $x =$
(4)		(5) $n =$
(6)	(7)	(8) $\angle x =$ °

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
(7) $(\quad, \quad)$		(8)	(9)	(10)	

(1) $x =$	(2) $a =$
(3)	

The graph shows a Cartesian coordinate system with x and y axes. The origin is labeled O. A parabola opens upwards, passing through point F on the negative x-axis and point B on the positive x-axis. The vertex of the parabola is labeled G, which lies on the x-axis between F and B. A polygon ABCDE is inscribed in the upper part of the parabola, with vertices A, B, C, D, E lying on the arc AB. Point A is on the left, B is at the bottom right, C is on the right, D is at the top right, and E is on the top left.

答. \_\_\_\_\_

(1)	(2) (分)
(3) $x =$ , $y =$	

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

↓ここにシールを貼ってください↓



2302300

## 2023年度 数学 解答用紙

各4点	(1) $-\frac{2x^2}{y}$	(2) $18 - 12\sqrt{3}$	(3) $x = 58$
	(4) $(a+b)(a-b)(x+1)(x-1)$	(5) $n = 60$	
	(6) 10	(7) $\frac{5}{12}$	(8) $\angle x = 44^\circ$

32点

(1)~(8) 各2点	(1) $\frac{6}{13}x$	(2) 0	(3) 13 完答	(4) $-3x + 30$	(5) 7	(6) 10 完答
	(9), (10) 各4点	(7) $\left( \frac{26}{3}, 4 \right)$	(8) 20	(9) 15	(10) $\frac{117}{7}$	

20点

(1) 5点 (2) 5点 (3) 8点	(1) $x = \sqrt{3}$	(2) $a = \frac{1}{4}$
	(3) まず、点Gのx座標を求める。 直線FAの式は $y = -\frac{1}{\sqrt{3}}x + 1$ である。 $\frac{1}{4}x^2 = -\frac{1}{\sqrt{3}}x + 1$ とすると、 $\sqrt{3}x^2 + 4x - 4\sqrt{3} = 0$ これを解くと $x = \frac{-4 \pm \sqrt{4^2 - 4 \times \sqrt{3} \times (-4\sqrt{3})}}{2\sqrt{3}} = \frac{2\sqrt{3}}{3}, -2\sqrt{3}$ 点Gのx座標は正であるから $x = \frac{2\sqrt{3}}{3}$ 点Aのx座標は $\sqrt{3}$ であるから、 $FG : GA = 2 : 1$ より $GA = \frac{1}{3}FA = \frac{2}{3}$ したがって、四角形ABCGの面積は $\triangle ABC + \triangle ACG = \frac{1}{2} \times 2\sqrt{3} \times 1 + \frac{1}{2} \times \frac{2}{3} \times 2\sqrt{3} = \frac{5\sqrt{3}}{3}$	

$$\frac{5\sqrt{3}}{3}$$

答.

18点

(1) 5点 (2) 5点 (3) 4点	(1) $20x + 20y = 2700$	(2) $34 - \frac{20y}{x}, 54 - \frac{2700}{x}$ など (分)
	(3) $x = 60, y = 75$	

14点

各4点	(1) 10	(2) 6	(3) $19\sqrt{2}$	(4) 2263

16点

↓ここにシールを貼ってください↓



2302300